

月刊

あなたにこの本を！

令和7年  
2025年

11月

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※ [ ] 内の番号は、日本十進分類法 (NDC) 新訂 10 版による分類記号です。



スポーツによる  
地域振興

## スポーツによる地域振興

—その視点と具体的アプローチ—

神成淳司 著

ジャンル：現代社会を見つめる

三修社 2024年11月 1700円 ISBN: 978-4-384-07059-0

スポーツは住民の健康増進やコミュニティ形成を支える大きな力である。スポーツ庁は、住民がスポーツを「みる」ことを前提とし、収益を得ながら地域の振興も目指す「スタジアム・アリーナ改革」の対象施設として大阪市の「桜スタジアム」などを選定している。地域の特性を活かしたプロスポーツチームの誕生や、新しいスポーツの誘致などにより地域内外から関心を持つ人々が集まり経済効果が高まった事例が紹介されている。地域振興のためにスポーツを支える大切さを教えてくれる。  
[780.9]



## かずをはぐくむ

森田真生 著

ジャンル：子どもの成長のために

福音館書店 2025年4月 1800円 ISBN: 978-4-8340-8845-8

数学者が、幼い兄弟を育てる生活を通じた5年間のエピソードをつづる。父と子の時間は「さいごのかずってなんなの?」「いまこころのなかで百までかぞえた!」など、数にまつわるみずみずしい言葉で満ちている。どんなに大きな数でも、その後ろに「0」をつけるだけでもっと大きくなる事を説明するなど、著者は数字で遊ぶ息子たちに心躍らせながら育児を楽しむ。人の心のなかに数が育まれていくまでの道のりをたどりながら、親子のコミュニケーションの多様性を学べる。[599.04]



## 困った人のこまりごと

—保健所精神保健福祉相談員の日常—

芦沢茂喜 著

ジャンル：現代社会を見つめる

生活書院 2024年12月 1800円 ISBN: 978-4-86500-179-2

保健所で日々周りから「困った人」とラベルを貼られた人の相談を受ける著者が、その経験をつづる。自身を姫と認識しながらもコンビニで車中泊をする女性に対し、彼女がお城と呼ぶ自宅に戻れるように相手の世界に合わせながら対応するなど、9つの事例が紹介される。著者は「本当に困った人は、困っている人を困った人とのラベルを貼り、排除することしかできない私たちなのかもしれない」と語る。「困った人」と著者の関わりを通して、相談員の仕事を知ることができる。[369.28]

## 謎解き妖怪学

小松和彦 著

ジャンル：歴史・文化に親しむ

KADOKAWA 2024年12月

1500円 ISBN: 978-4-04-703738-0

長年妖怪研究をしてきた文化人類学者による妖怪学の入門書。日本の妖怪は『古事記』などに登場するほど長い歴史を持ち、種類も多彩だという。本書は、鬼や天狗(てんぐ)の描かれ方の変化、土蜘蛛(つちぐも)退治の歴史的な背景など、妖怪にまつわる5つの謎を取り上げる。国宝『信貴山縁起絵巻』に登場する「空飛ぶお鉢」がなぜ飛ぶのか、そのアイデアはどこからきたのかという疑問を、能や民間信仰などの知識を交え読み解く。妖怪文化の奥深さや謎を解き明かす快感が味わえる。[388.1]

## 言語学者も知らない謎な日本語

—研究者の父、大学生の娘に若者言葉を学ぶ—

石黒 圭、石黒 愛 共著

ジャンル：知識・教養を深める

教育評論社 2024年11月

1800円 ISBN: 978-4-86624-107-4

言語学者が「それな」「エモい」「草」といった若者言葉について、3人の娘に教わる形で紹介する。「スマホの充電が切れないことを祈る」など、若者はささいなことで「祈る」という大仰な言葉を使いがちだが、その背景には「今後の活躍をお祈り申し上げます」のような心のこもっていない大人の「祈り」があると著者は分析する。軽薄な印象を受ける若者言葉の裏側には、実は社会的な要因があるのだという。親子の身近な会話を楽しみながら、若者言葉の世界を探索することができる。[814.9]

## 大阪弁の深み —その独特の魅力を味わう—

札埜和男 著

ジャンル：大阪にゆかりの本

PHP研究所 2025年5月

1050円 ISBN: 978-4-569-85909-5

方言の研究者である著者が、各地でフィールドワークを通して集めた大阪弁について紹介する。「自分、骨あるん?」といった府警の採用ポスターは、ユーモアを交えた表現で興味をひく。府内老舗遊園地のCMでは、タレントに「おま」という古風な大阪弁をしゃべらせ、全国的に注目を集めることができた。裁判では、弁護士が被告の緊張を和らげるために意識的に大阪弁を使うことにも触れられている。軽妙で温かみがあるなど大阪弁の多彩で味わい深い魅力に出会うことができる。[818.63]

大阪市立図書館では、図書館で受け入れた一般成人向け新刊図書から、「あなたにこの本を！」選定委員会で推せんする図書を選び、「月刊あなたにこの本を！」を発行しています。生涯学習に役立つよう、また、多くの人々に読書に親しんでいただけるよう、幅広い視点で図書を選んでいます。

バックナンバーは大阪市立図書館ホームページでご覧いただけます。また、「あなたにこの本を！」に選んだ図書の書誌データと紹介文を、オープンデータとして公開しています。1冊ずつにジャンルと紹介文をつけていますので、ご活用ください。

大阪市立図書館「あなたにこの本を！」 <https://www.oml.city.osaka.lg.jp/page/413.html>

